

評価シート（年度評価）

名古屋市芸術創造センターの管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市芸術創造センターの管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
施設事業としてサポート公演「果てのファンタジアfallen angels」を実施した。公演スタッフの多くが専門学校の学生であったためフロント業務の実施計画の確認や事前練習などを行い専門人材の育成に努めるなど、芸術創造センターの位置づけを意識した管理運営を行っている。また文化庁から助成を受けて実施した公演「綺譚／鹿鳴館」では、地元の芸術関係者を起用して名古屋の文化芸術創造発信拠点としての役割を果たした。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

施設の現状

芸術創造センター

施設の現状	施設概要							
	芸術文化の創造及び芸術文化活動の交流の場を市民に提供するとともに、芸術文化に関する情報資料の供用等を行うことにより、芸術文化の振興に寄与するため設置された施設です。具体的には、ホールやリハーサル室等施設の貸出や、資料室の運営を行っています。また文化創造発信の拠点として、地元文化芸術団体と連携し作品を創作したり、鑑賞機会を提供する主催事業を行っています。							
	市の収支状況(千円)（3年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	114,785	0	114,785	573	0	114,212	114,785	46,051
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	利用率(ホール)		%	98.9	88.8	60.7	78.9	
	利用率(リハーサル室及び練習室の平均)		%	99.7	96.8	92.9	96.3	
	収支率		%	44.9	40.2	20.3	33.5	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市芸術創造センターにおける指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市芸術創造センターの管理		
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目		評価区分						特記事項
		平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	
1 基本事項								・研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した(2)
	(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
	(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
	(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
	(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
	(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理								
	(1) 建物・設備の保守点検	○	○	○	○	○	○	
	(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
	(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
	(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス								・非常に高い水準の利用率を維持(28) ・計画を大きく上回る訪問活動を実施し、新規の協賛金獲得やチラシの配架先を拡充し、地域連携を強化(28) ・企画公演とバレエアカデミー等で前年度を大幅に上回る文化庁の補助金を獲得(28) ・ホール利用率 95.9%（1 月末時点）で、対計画値比 4.9 ポイント増、非常に高い利用率を維持(1) ・ホール利用率 95.3%で対計画値比 4.3 ポイント増、対前年度比 1.5 ポイント増(29) ・連携企画公演と演劇アカデミーで文化庁補助金を獲得(29) ・ホール利用率98.9%で対計画値比 7.9 ポイント増、対前年度比 3.6 ポイント増(30) ・連携企画公演とバレエアカデミーで文化庁補助金を獲得(30)
	(1) 利用実績	◎	◎	◎	◎	—	—	
	(2) 事業実施状況	◎	◎	◎	○	○	○	
	(3) 広報・PRの実施	○	○	○	○	○	○	
	(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
	(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	

4 経費等							
	(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○
	(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○
	(3) 再委託	○	○	○	○	○	○
年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）							
平成 28 年度	前年度から導入したデジタルプロジェクターの PR や、法人や地域への顔の見える営業活動を実施した結果、前年度並みの高いホール利用率を保ったほか、対前年度比でリハーサル室は 3.2 ポイント、大会議室は 1.5 ポイントの利用率増加となった。 今年度から拡充したアウトリーチ事業では、市政資料館や福祉施設、文化のみち二葉館を会場として事業を実施し、好評を得るとともに文化芸術の振興に寄与した。 施設事業では文化庁の補助金制度を積極的に活用し、前年度の 3 倍以上となる補助金を獲得し、内容の充実した芸術性、企画性の高い舞台を創造した。						
平成 29 年度	東法人会会員への営業活動や、横山美術館をはじめとした近隣美術館との連携、地域への営業活動を強化したことにより、ホール利用率が 95.3% と対前年度比 1.5 ポイントの増、練習室利用率も 100% となった。 また、文化庁からの補助金を活用した事業では地元芸術文化関係者とともに企画性の高い優れた舞台を引き続き市民に提供したほか、地元文化団体への支援、若手芸術家の育成に貢献する等、文化芸術の創造拠点としての役割を果たした。						
平成 30 年度	東法人会会員や近隣企業への営業活動、ホールがキャンセルになった場合の積極的な空き日案内などにより、ホールの利用率は対計画値比 7.9 ポイント増、対前年度比 3.6 ポイント増の 98.9% と非常に高い利用率を達成し、練習室利用率は 100% を維持した。 主催事業の連携企画公演 3 事業とバレエアカデミーでは文化庁の補助金を獲得し、地元芸術文化関係者とともに芸術性及び企画性の高い舞台を市民に提供することができた。						
令和元年度	近隣企業に利用促進の営業活動を行い新規顧客の開拓に努めるとともに、毎月近隣企業・店舗・ギャラリー等へ職員が直接訪問して機関紙「トキメキ通信」の配架を依頼するなど、積極的に劇場の PR を行った。この結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の 1 月末時点でのホール利用率は 95.9%、練習室利用率は 100% と前年度に引き続き非常に高い利用率を維持した。 施設事業の「演劇アカデミー」は文化庁の補助金を獲得し、内容を充実						

	させて実施することができた。この事業を通じて演劇に意欲のある市民に成長の機会を提供することができ、演劇に関わる人材の育成に寄与した。
令和 2 年度	半年間、工事休館をしていたが、施設の Twitter アカウントを新たに開設し、イベント情報・空き日の情報・施設スタッフの業務等について発信を行い、利用者や来場者の確保に努めた。 施設事業では芸術文化の創造拠点として、サポート公演「名古屋城天守物語」を実施。地元の芸術関係者とともに芸術性及び企画性の高い舞台を成功させることができた。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	施設事業としてサポート公演「果てのファンタジア fallen angels」を実施した。公演スタッフの多くが専門学校の学生であったためフロント業務の実施計画の確認や事前練習などを行い専門人材の育成に努めるなど、芸術創造センターの位置づけを意識した管理運営を行っている。また文化庁から助成を受けて実施した公演「綺譚／鹿鳴館」では、地元の芸術関係者を起用して名古屋の文化芸術創造発信拠点としての役割を果たした。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度と令和 3 年度は計画値に達しなかったものの、指定期間の前半は、営業活動の強化や空き日案内により非常に高い水準で利用率を維持した。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等

営業活動や広報活動に力を入れて取り組み、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前は前指定期間を上回る非常に高い水準で利用率を維持した。

施設事業では継続的に文化庁の補助金を獲得し、地元芸術文化関係者とともに芸術性及び企画性の高い舞台を市民に提供した。